

第1章 令和3年度練馬区みどりの実態調査の概要

1 調査の目的

この調査は、練馬区みどりを愛し守りはぐくむ条例第8条に基づき、みどりの保全および創出のために必要な施策を検討するための基礎資料とすることを目的として実施した。

2 調査対象地域

練馬区全域(48.08km²)

3 調査期間

令和3年4月23日から令和4年3月31日まで

4 調査内容

(1) 緑被調査

航空機により練馬区全域の空中デジタルカラー写真を撮影し、10cm解像度の可視カラーおよび赤外カラーのオルソ画像を作成した。

それらの画像より、緑被の内容を明らかにし、区内全域の緑被率、みどり率を算出した。また、練馬区基本図と重ね合わせ、緑被分布図を作成し、地域別、施設別に緑被状況と推移を調査した。

(2) 緑視率調査

道路から見えるみどりの状況を把握するため、公園、都市計画道路沿いや住宅地において選定した172地点において、緑視率(人の視野に占める緑被面積の割合)を調査した。

(3) 制度別調査

みどりに関連する制度を適用している地域等について、緑被状況と推移を調査した。

(4) その他調査

緑被分布図から300m²以上の樹木地の抽出を行った。緑被地状況の把握のため、緑被地単位調査を行った。人工衛星ランドサットのデータから練馬区の地表面温度分布図を取得し、緑被分布との関係を調査した。

(5) アンケート調査

練馬区みどりの総合計画における30年後の目標「練馬のみどりに満足している区民を80%に増やす」の達成度合およびみどりに関する意識や意向をとらえるためにアンケート調査を行った。

5 調査手順

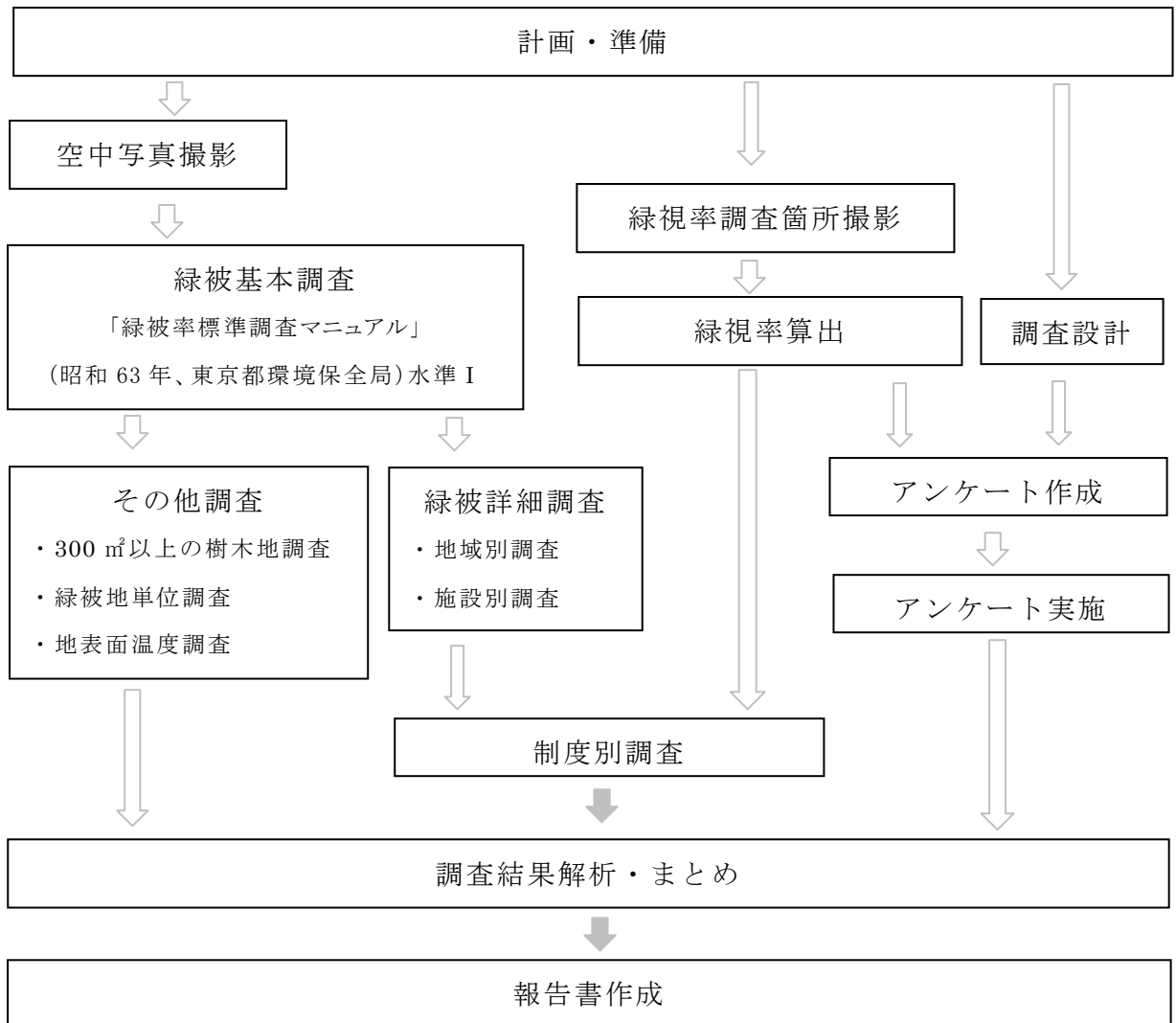


図1-1 調査手順